

## 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター

病院長名 長谷川 好規

所在地 〒460-0001  
愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1

交通案内 名古屋市地下鉄名城線「市役所」下車徒歩1分  
(令和5年1月4日から駅名が「市役所」から「名古屋城」に変わります)



### 病院の特徴

当院は開設以来140余年の歴史を有し、前身は国立名古屋病院として国民のための医療を提供しつづけております。年間救急搬送台数9000台を超える第3次救急指定病院、都会型総合病院です。

また、当院は、わが国では数少ない臨床研究中核病院に選定されています。病床数は656床です。近隣は名城公園・名古屋城があり、街の中心に位置するにも関わらず喧騒からは離れた恵まれた環境にあります。

### 研修の特徴

当院の研修の特徴は、豊富な救急症例と勉強会、そして診療科ごと熱心な指導にあると考えます。さらに当院には初期・後期研修のサポートをする部門として「卒後教育研修センター」が存在し、研修生活が充実したものになるような役割(教育・研修フィードバックや進路面談・研修医採用活動等)を果たしています。

当院での研修において私たちが望んでいることは、技術・知識のほかに、この時期にこそ「医師としての態度と考え方」を身につけてほしいということです。当院は、それらを育む病院の文化・環境・風土作りとスタッフの育成に力を入れております。ぜひ一度、その文化を感じに見学にお越しください。Webによる個別診療科説明会も随時行っています。詳細は当院HPをご覧ください。



### 専門研修／後期研修

当院では、新専門医制度に準拠した研修を3つの基本領域診療科(内科・外科・眼科)で基幹施設として行っています。またその他ほとんどの領域は他施設の基幹プログラムへ連携しています。専門研修プログラムに則らずに後期研修を行うレジデントも受け入れており、個々のニーズに柔軟に対応可能な研修体制が整っています。

初期研修について→



←後期研修について



### メッセージ

#### 指導医 (卒後教育研修センター長 近藤 貴士郎)

私が当院ERに赴任したときのこと。各診療科の医師がみな救急に協力的で、研修医への教育も熱いことに感銘を受けました。その場でフィードバックがあり、ERでミニレクチャーが始まり…もともと熱心な教育文化が根付いていると感じました。

毎年、全国各地の大学から研修医が集まり切磋琢磨しています。後期研修では初期から引き続き残る人が多く、若手医師から研修医にありがちな疑問を学ぶことができます。

国立病院ですから臓器別専門科も揃っていて、さらに総合内科、腫瘍、膠原病、ER、ICUなど横断的に学ぶことも可能です。救急患者は年々増加して市中感染症から外傷までcommon diseaseも多く、得られる経験は量・質ともに十分です。ぜひ当院での研修をお待ちしています。



#### 研修医 (1年次研修医 池田 真輝)

皆さんどんな医師になりたいですか？ 研修先を選ぶにあたり、一度はその「問い」に対し真剣に向き合うことになると思います。救急医になってemergencyな場面で働きたいと思う方、内科医になって臨床研究にも携わりたいという方、そこには十人十色の答えがあるでしょう。

名古屋医療センターは計37の標榜診療科があり、さらには臨床研究施設も兼ね備えています。さまざまな診療科での研修のなかで、きっと自分のロールモデルとなるような先生との出会いがあるはずですよ。まさに皆さんの思い描く進路に対して「答え」を用意してくれる、そんな場だと思います。

すこしでも興味を持たれた方はぜひ一度当院を見学しに来てください。皆さんと学び合える日を一同楽しみにしております。



### 募集要項

採用実績	2021年度 13人 ・ 2022年度 14人	
給与／月額	1年次 316,000円 ・ 2年次 334,100円 (※手当含まず)	
当直回数／月	5～6回 平均(交代制勤務で翌日は休み)	
当直料／回		
その他		
応募連絡先	担当者	給与係長 羽山
	電話番号	052-951-1111
	Eメール	hayama.kenji.ew@mail.hosp.go.jp